



# 大空町女満別B&G海洋センター

海洋センターを活用した地域コミュニティ再生に関するモデル事業  
地域住民による自助・共助（コミュニティ）の防災体制づくり

## 事業報告会

- 日時：2023年3月17日 16：00～
- 場所：大空町役場 1階 1号会議室

# モデル事業実施の背景

# 背景

## 1. 社会背景

○熊本地震や九州北部豪雨、北海道胆振東部地震、大型台風など、毎年大きな自然災害が多発

○社会的に防災に対する意識醸成、環境整備拡充における重要性が高まっている



## 2. 海洋センターの現状

全国で約200カ所の海洋センターが地域の避難所になっているが、被災時における設備や備品が整っていない。



# 大空町における状況①

## 1. 想定するリスク



地震



土砂災害



豪雨・暴風雨



豪雪・暴風雪



# 大空町における状況②



## 2. 脆弱性評価

### (1) 地域防災活動、防災教育の推進

○自主防災組織の組織率向上に向け、現在北海道が取り組んでいる「地域防災マスター制度」などを活用し、地域防災力の向上に向け自主防災組織の結成促進等を図る必要がある。

○学校教育においては、防災教育啓発資料の配付や体験型防災教育を通じ、学校関係者及び児童生徒の防災意識の向上に向けた取組みを進めているが、今後、地域・学校の実情に応じた実践的な避難訓練の実施など、一層の効果的な取組みを行う必要がある。

# 大空町における状況③



## 2. 脆弱性評価

### (2) 防災訓練等による救助・救急体制の強化

○道内の防災関係機関で構成する「北海道防災会議」を中心に、地域防災計画の推進や防災総合訓練など関係行政機関の連携を図っており、今後も防災訓練などの機会を通じ、消防、警察、自衛隊など関係機関相互の連携体制を強化し、災害対応の実効性を高めていく必要がある。

○緊急消防援助訓練や広域緊急援助隊などそれぞれの部門において様々な形態、規模による訓練が実施されており、これらの訓練で得た課題を踏まえ、より効果的な訓練環境の整備を図るなど、災害対応の実効性を高めていく必要がある。

# 課題解決に向けて

1. 3つのテーマ

ボランティアの  
育成事業

防災教育  
事業

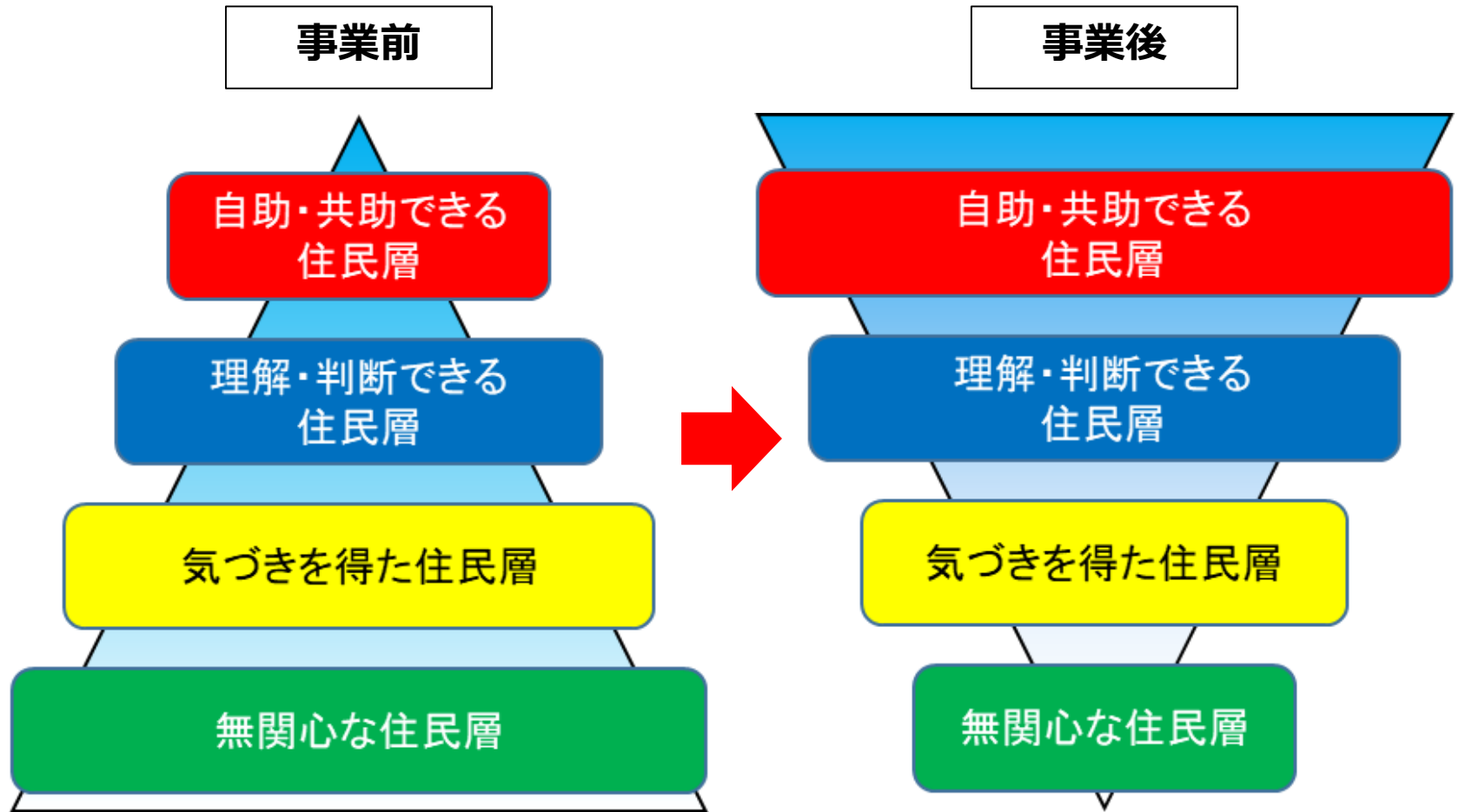
交流活性化  
事業

# 事業目的



# 事業目的

事業名:地域住民による自助・共助(コミュニティ)の防災体制づくり



コミュニティの活性化により防災に強い町に

# 事業目標

2021～2022年度

①地域の防災ボランティア  
20名育成

②防災ボランティア組織による  
各種防災事業への動員100名

③防災事業参加者数500名

④海洋センター利用者数  
20%増

## 2カ年計画

2021年度	2022年度
<p>◆海洋センター改修</p> <p>避難所機能拡充(防災倉庫併設、冷暖房設備改修、フロアマット敷設、仕切り壁設置)、健康増進室新設、アリーナ等照明LED化(水銀灯)</p> <p>◆防災器材の配備</p> <p>◆各種防災事業の開始(12月～)</p>	<p>◆各種防災事業の実施および検証</p> <p>◆事業報告会</p>

# 海洋センター改修工事

# 財団からの支援

## 修繕助成金

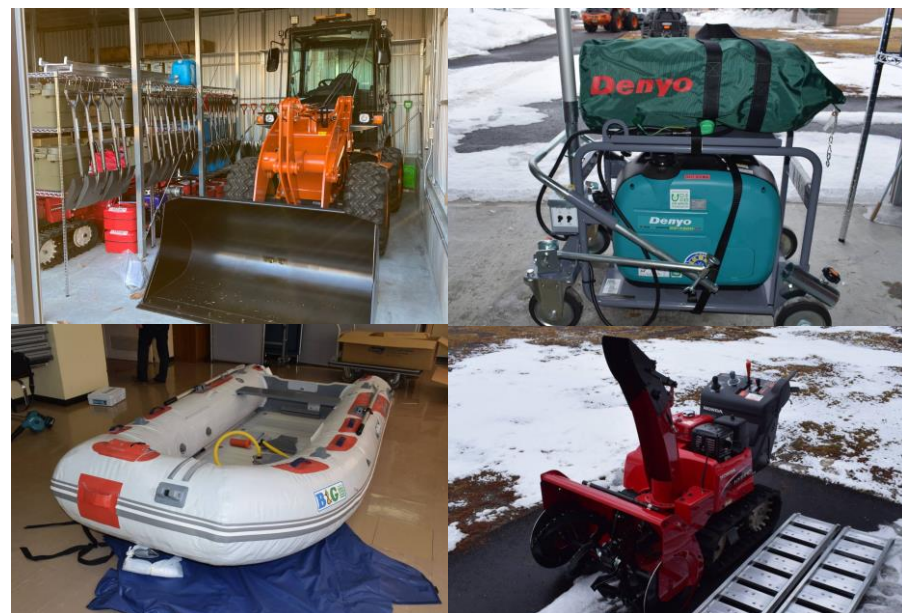
助成金額：¥30,000,000



北海道新聞 2021.7.8掲載

## 防災器材配備

支援金額：¥23,000,000



避難所開設グッズ、防災器材等

# 2021年度 修繕工事内容①

## ◆防災倉庫併設

改修前



改修後



# 防災器材配備内容



## 2021年度 修繕工事内容②

◆冷暖房設備改修、フロアマット敷設、仕切り壁設置

改修前



改修後





# 2021年度 リニューアル式典の開催

◆日程:2021年12月4日(土)



# 防災ボランティアの育成

# 事業内容・成果【防災ボランティアの育成】

## ①避難所開設研修会(1)

### ◆事業概要

(1)日 時: 2021年12月4日(土)

(2)場 所: 大空町女満別B&G海洋センター

(3)参加者: 25名(北海道地域防災マスター、大空町商工会青年部等)

(4)内 容: 避難所開設器材を用いた避難所開設訓練、網走気象台講演等



# 事業内容・成果【防災ボランティアの育成】

## ②避難所開設研修会(2)

### ◆事業概要

(1)日 時: 2022年12月3日(土)

(2)場 所: 大空町役場・東藻琴総合支所・女満別B&G海洋センター・東藻琴  
B&G海洋センター

(3)参加者: 105名(役場、消防団、自衛隊等)

(4)内 容: 役場を本部から各避難所にリモートで指示を出す避難所開設訓練



# 事業内容・成果【防災ボランティアの育成】

## ③水害救助ボランティア研修会

### ◆事業概要

(1)日 時: 2022年7月23日(土)

(2)場 所: 大空町女満別B&G海洋センター

(3)参加者: 20名(スポーツ推進委員、B&G海洋クラブ員、消防クラブ員)

(4)内 容: ロープワーク、陸上からの救助、ボートによる救助



# 事業内容・成果【防災ボランティアの育成】

## ④雪害ボランティア研修会

### ◆事業概要

(1)日 時: 2023年1月28日(土)

(2)場 所: 大空町女満別B&G海洋センター

(3)参加者: 24名(北海道地域防災マスター、スポーツ推進委員など)

(4)内 容: 除雪機を使った実技、スタック車両の救出方法



# 防災教育事業

# 事業内容・成果【防災教育事業】

## ①防災の日に学ぶ防災教育～災害を生き抜くために考えよう～

### ◆事業概要

(1)日 時: 2022年9月1日(木)、2022年10月6日(木)

(2)場 所: 大空町女満別B&G海洋センター

(3)参加者: 計65名(女満別小学校5年生・東藻琴小学校4年生および教員)

(4)内 容: 雪害・震災のメカニズムに関するパネル学習、防災グッズ紹介、簡易ベッド組み立て、「災害対応のジレンマ」をテーマにした思考ゲーム





# 事業内容・成果【防災教育事業】

## ②1日防災学校

### ◆事業概要

(1)日 時: 2022年12月15日(木)

(2)場 所: 女満別中学校

(3)参加者: 計162名(女満別中学校全校生徒および教員)

(4)内 容: 避難訓練、避難訓練の振り返り、避難所開設の体験、防災に関する情報提供

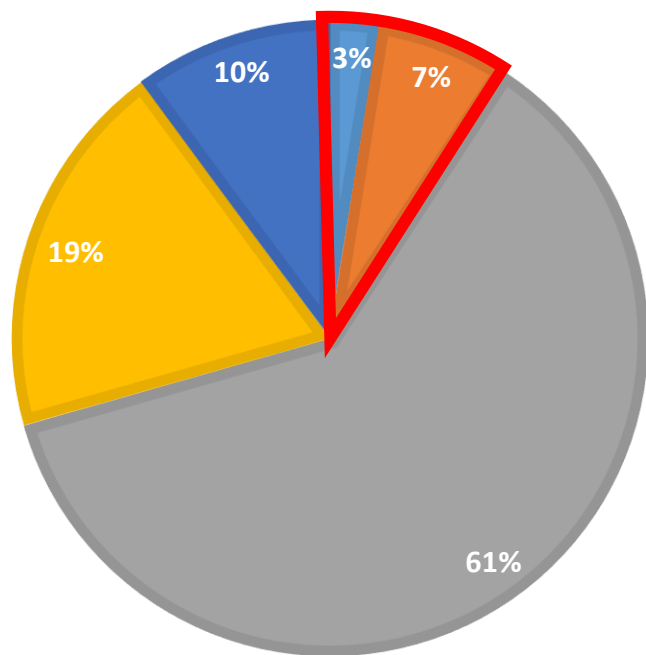


# アンケート①

「自助」の意識・知識について

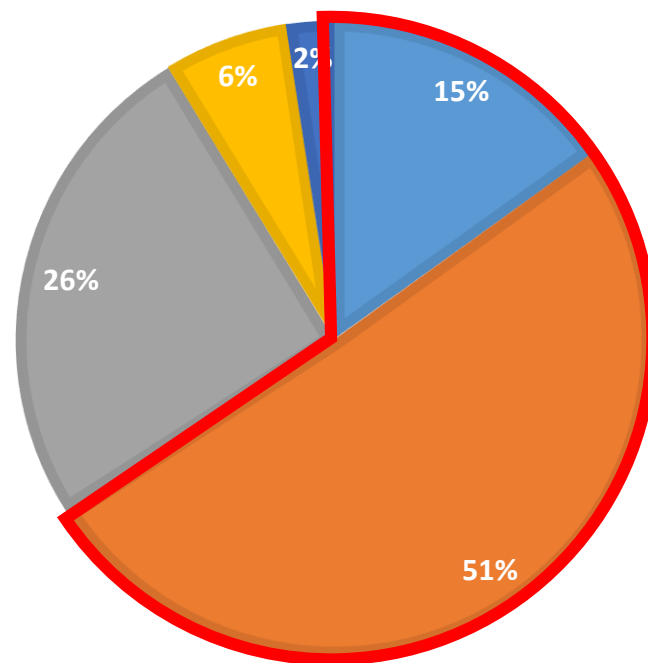
授業前

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い



授業後

■高い ■やや高い ■普通 ■やや低い ■低い



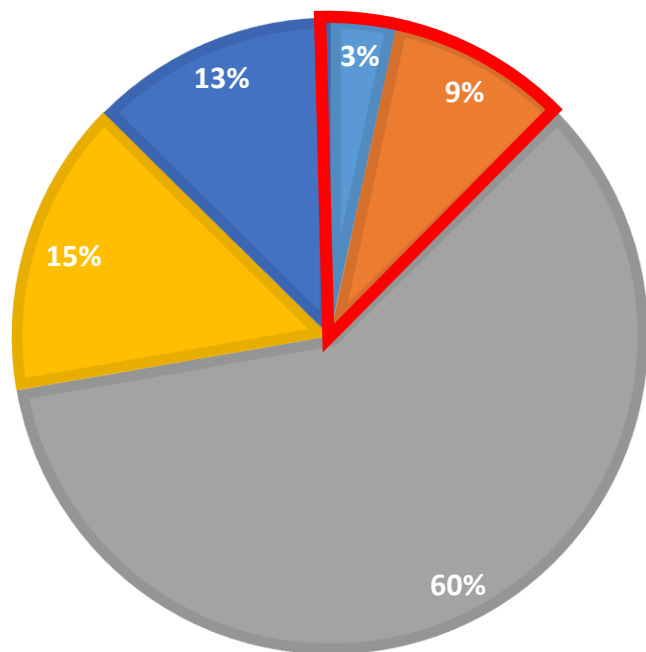
高い・やや高い 10%→66%

## アンケート②

「共助」の意識・知識について

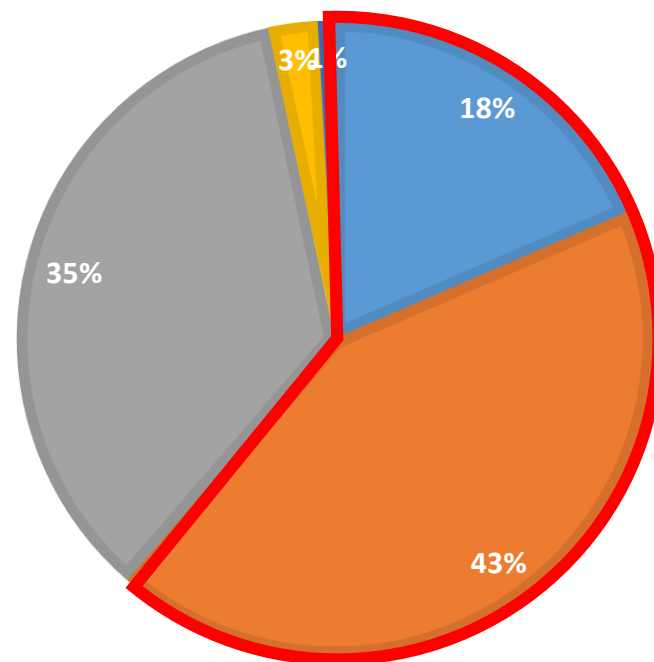
授業前

■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い



授業後

■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い



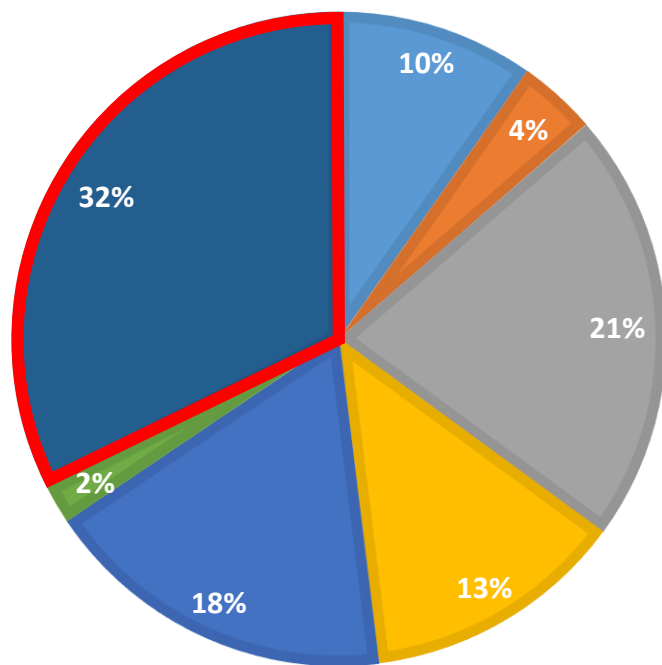
高い・やや高い 12% → 61%

## アンケート③

地域で大規模な災害が発生し、住民同士の助け合い(共助)が必要になった場合、あなたなら何ができると思いますか？

回答

- 救助活動
- 消化活動
- 安否確認作業
- 負傷者のケア
- 身体の不自由な方や高齢者のケア
- その他
- 何もできないと思う



実践的な授業を実施する必要か！

## 生徒・教員からの意見（抜粋）

### 【今後どのような防災授業を受けてみたいか(生徒)】

- ・いつも逃げるところはやっているけど、逃げたあとがどんな動きかわからないので少し不安です。
- ・豪雪などのこの地域でも起こるものの防災授業。
- ・けが人などが出てしまったときどうすればいいのかなどの本当の災害に近い授業。
- ・学校ではなくて、町や町内会が一体となってやる防災みたいな感じ。
- ・避難所での怖かった出来事や、良かったことなどを体験した人の意見を聞くような授業を受けてみたいです。

### 【今後生徒にどのような防災授業を受けさせたいか(教員)】

- ・避難所に持っていく持ち物を自分たちで考えさせる。
- ・助け合い活動を実際に行うなど、体験的な活動を行わせてみたい。
- ・炊き出し体験、新聞紙やアルミを使った耐寒体験。
- ・避難したこと無い生徒に、避難場所での生活や注意点などを指導する。
- ・免震、地震体験車による地震模擬体験。

# 防災器材の活用

# 配備器材 活用事例



研修会館除雪

# 配備器材 活用事例



2022道の駅冬まつり



2023道の駅冬まつり



# 配備器材 活用事例



芝桜公園ライトアップ



わくわくまつり



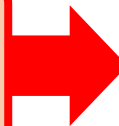
バレーボール合宿



マラソン大会

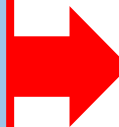
# 達成状況

①地域の防災ボランティア  
20名育成



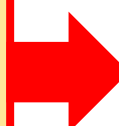
B&Gボランティア  
**24名**登録

②防災ボランティア組織による  
各種防災事業への動員100名



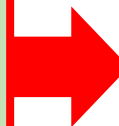
水害・避難所・雪害で  
**計174名**が参加

③防災事業参加者数500名



避難所開設、水害ボラ・防災レク、  
防災教育、雪害ボラ・雪レク  
**計500名**が参加

④海洋センター利用者数  
20%増



2021年度:11,796名  
2022年度:**18,507名**  
(2月末時点で**56.9%増**)

# 事業成果まとめ

地域住民を対象とした  
防災ボランティア研修の実施

地域住民・学校を対象とした  
各種防災事業の実施

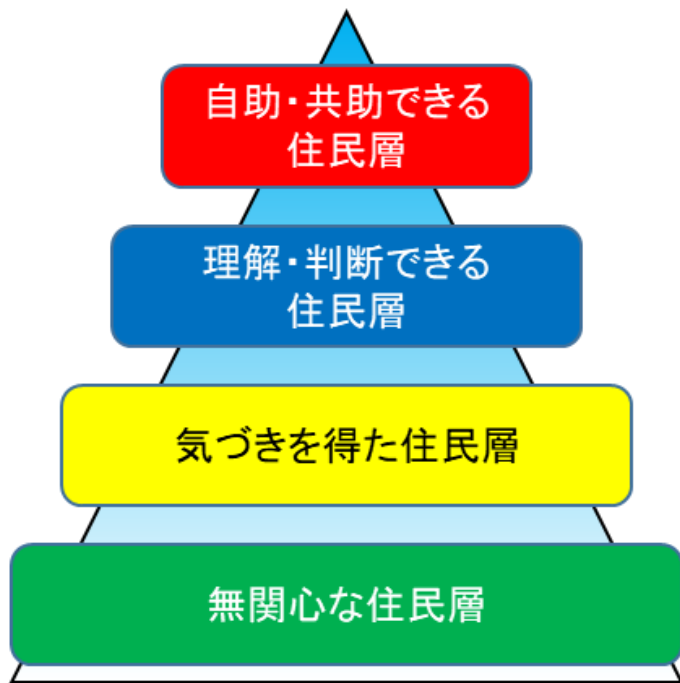
定期的な防災  
ボランティアの活動  
【自助・共助できる住民層】

防災意識の醸成  
【理解・判断できる住民層/  
気づきを得た住民層】

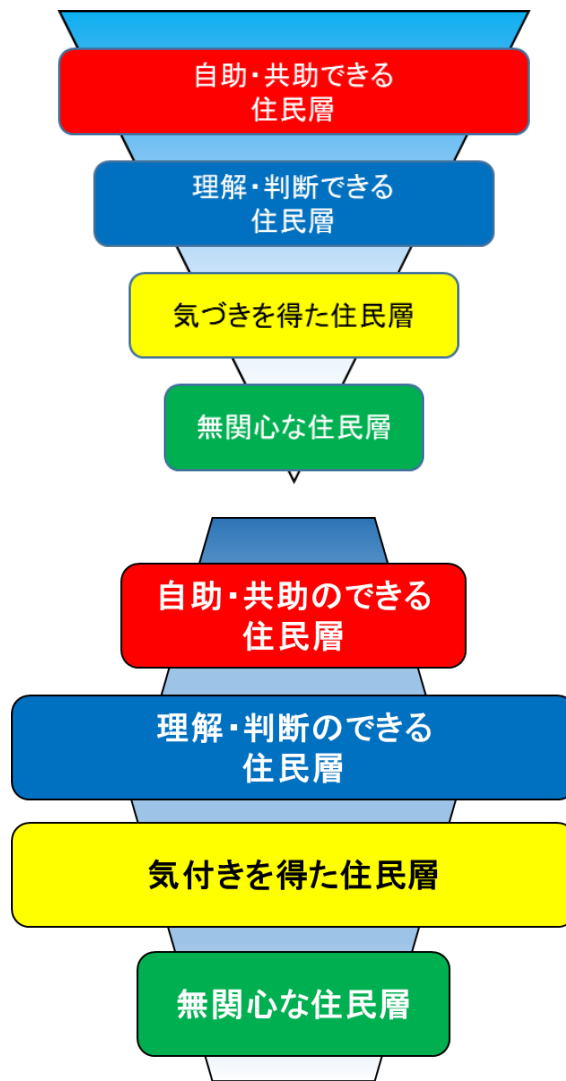
コミュニティの活性化により防災に強い町に

# 事業目的課題

事業前



事業後



理想

現実

# 今後の展開

## ①防災教室の継続

小学校からの継続の意思が高いことから、今後も引き続き防災教室を実施。

## ②防災ボランティアの育成

避難所開設や水難救助など災害時に活躍するボランティアを引き続き育成し、災害に強い大空町を目指す。

## ③大空地区河川防災ステーション

令和7年度より稼働する大空地区河川防災ステーションとの連携を図り、より効果的な事業を展開していく。



# 最後に・・・

今後大空町住民の皆様の防災意識向上のために  
今後是非皆様のご指導・ご鞭撻を  
どうぞよろしくお願いいたします。



ご清聴ありがとうございました

